

みずほ まちなか会議を開催しました!

テーマ「支え合い 助け合う 幸齢社会」

1月22日(日)厚生文教委員会では「みずほ まちなか会議」をオンラインで開催しました。10代～70代まで総勢13名の方が参加され、2班に分かれて会議を行いました。

参加者の年代構成

| | |
|--------|--------|
| 10代…2名 | 50代…2名 |
| 30代…1名 | 60代…2名 |
| 40代…2名 | 70代…4名 |

【参加者からの主な意見】

親の中には子育てが苦手な人もいます。そんな時に高齢者が子育てに協力してくれたいと思う。家族単位から地域単位での子育てや高齢者の見守りや生きがい作りが大切です。

「高根市」を月2回開催して、町内の皆さんと顔が見える交流を目指しています。子どもたちにも楽しんでもらえるように、かき氷やゲームもありますが、もっと多くの方に来てもらえるようなアイデアがあったら教えてください。

子どもを産めば産むほど支援が受けられる制度ってできないかなあ。



高齢者の知識を地図に落とし込んでの街歩きはどうですか。「町のことは高齢者が、スマホの使い方は子どもたちが」みたいに、互いに教えあえるイベントになるとと思います。

ポッチャやモルックなどの軽スポーツやeスポーツなら世代を超えて楽しめると思う。

「駅伝大会」では、みずほまるのコスチュームを着て参加しました。また、高齢者に呼び掛けて「歌おう会」を行っています。どの世代にも「笑い」や「生きがい」を提供したいです。

寿クラブには代々続く地元料理を教えられる高齢シェフがたくさんいます。料理教室を開いて皆さんを招待したいです。

それなら、学校の料理の実習時間に講師として教えに来てほしい。友達にも参加するように、お知らせのチラシを作ります。

【その後…委員会として】

厚生文教委員会では「まちなか会議」に参加された皆様からの意見を政策に結び付けるために、委員会を開催しました。政策立案に向けてさらに話し合いを重ねていきます。

*総務産業建設委員会が予定していた「みずほ まちなか会議」は中止となりました。

厚生文教委員会 視察報告

全国平均を大きく上回る学力・・・その秘訣は

岐阜県瑞穂市 令和4年11月16日(水)

市では学校と地域が協力して地域行事などで小中学生の活躍の場(焼きそば作り、花を育てて高齢者に届けるなど)を提供していました。教職員については、市教育委員会が特に若手教員の指導力向上に向けて、元校長先生による相談や研修を行っていました。また、学力向上に向けて、各学校がそれぞれ独自の指導プランを作成するなど、学校が主体的に学力向上に向けて取り組んでいました。子どもたちも教職員も市全体で育てる取り組みは、わが町の今後の教育に大いに参考になりました。



地域行事で活躍する子どもたち

* 部活動の地域移行に向けて 説明会は100回以上

*令和5年度から公立中学校の休日における部活動を段階的に教員から外部に移行する制度

岐阜県可児市 令和4年11月17日(木)



可児市は、令和4年10月から地域移行の試行実施を開始しました。地域移行をスムーズに実施するためにどのような事前準備をしたか質問したところ、地域移行に向けて市部局の「文化スポーツ課」2名が中心となって進め、生徒や保護者などへの学校での説明会は100回以上にわたり、そこで出された意見はその場で受け入れるなど柔軟に対応したとのことでした。課題は人材の確保で、指導者は保護者が中心となって集め、どうしても見つからないときに担当課で対応するという仕組みを作っていました。